

教科目標

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を養うとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

コミュニケーション能力を育成したり、論理的思考力を育んだりする観点から、ゲームや練習などにおける励ましや協力をすること、及び練習方法や作戦を考えたり、成果を振り返ったりするために話し合う活動などを充実する。また、健康・安全に関する知識を活用する学習活動を充実する。

友達との関わりを深め、課題解決を目指すことを通して技能の向上を図る事例

1 学年 第6学年

2 単元名 バasketボール (ボール運動 ゴール型)

3 単元の目標

バasketボールに進んで取り組み、ボール操作やボールを受けるための動きを高めるとともに、自分たちの力に応じてルールや行い方を工夫してゲームを楽しむことができるようにする。

4 言語活動の充実の視点

視点1：動きのポイントを踏まえてアドバイスしたり、目当ての達成に向けて互いの良い動きを認め合い、励まし合ったりする。
(コミュニケーション能力の育成)

視点2：ゲームを通して学んだことや話し合ったことを基に課題を持ち、解決を目指して練習方法を選んだり、工夫したりする。
(論理的思考力の育成)

5 主な学習活動 (全12時間)

| 段階 | 学習活動 |
|------------|--|
| 第一次 (4) | <ねらい1> パス、ドリブル、シュートなどを使って、易しいルールでゲームを楽しむ。 ・ボール操作の基礎練習 ・オープンスペースを使って攻めるミニゲーム 視点1 |
| 第二次 (4) | <ねらい2> 攻め方や守り方を工夫して、ゲームを楽しむ。 ・動くエリアを制限したミニゲーム ・攻撃サイドでの人的優位を生かした戦術を選択し、課題を持って練習する。 視点2 |
| 第三次 (4) | <ねらい3> 自分たちの作戦を立てて、ゲームを楽しむ。 ・チーム総当たりによるバasketボール大会 ・自分たちの特徴や相手の力に応じて作戦を立て、兄弟チーム同士でゲームを見合い、その成果を話し合う。 |

「運動領域」では

- 身体表現やゲーム場面での意思疎通などの集団的活動で互いに励まし合ったり、相手チームの健闘をたたえたりして、協力して学び合う学習活動を行います。
- 資料を基に練習方法や作戦を考えて教え合ったり、成果や課題について話し合ったり、学習カードにまとめたりする学習活動を行います。

「保健領域」では

- 実習や実験などを実施した際の観察や体験を基に話し合いを行い、考察し、身近な生活における課題や解決の方法を見付けたり、選んだりする学習活動を重視します。
- 健康に関わる概念や原則を基に、自分の生活と比較したり、身近な生活との関係を見付けたりしたことを説明するなどの学習活動を重視します。

評価の観点

- 技の出来映えを確かめ合ったり、ゲームでの課題解決を図ったりする学習は、「運動についての思考・判断」の観点で、互いに役割分担を決め、協力し合って意欲的に練習に取り組もうとする様子は「運動への関心・意欲・態度」の観点で評価を行います。